

# 地域と大学

第44号

*Newsletter No.44, Education Center for Regional Development*

## 新しいパートナーシップを築く 2030松崎プロジェクト

未来社会デザイン機構・副機構長／農学部・教授 竹之内 裕文

未来社会デザイン機構（2020年4月創設）では、松崎町、松崎町観光協会、伊豆半島ジオガイド協会とのパートナーシップに基づき、2020年12月から2030松崎プロジェクトを始動しています。「地域社会と大学の新しいパートナーシップ」を構築するモデル事業という位置です。ここでは、プロジェクトの基本的な考え方と今後の展開を紹介します。

未来社会デザイン機構は、次の3つの基本方針を掲げています。1.バックキャストによる未来社会のデザイン、2.多様なステークホルダーとのパートナーシップ、3.分野横断的なチーム単位での持続可能な事業展開。

これを反映して2030松崎プロジェクトでは、第一に、2030年における松崎の望ましい姿を描きます。それは2030松崎Goalsとして、すでに具現化されています。現在は2030松崎ビジョンを仕上げているところです。目指す未来像が固まったら、それを実現するプロセスをデザインします。

第二に、対等な関係で理想やアイデアを共有する「対話の場」を重視し、公開ワークショップを重ねてきました。すべての世代の住民の願いが反映される場となるように、工夫しています。とりわけ大切にしてきたのは、次世代（高校生と中学生）との対話です。彼（女）らは当事者であるにもかかわらず、意見を公的に表明する機会に恵まれないからです。「子どもたちと住み続ける地域を共につくる」という共通の目的のために、人間関係や利害関係のしがらみを超えて、一人でも多くの地域住民に参加し力を発揮してほしいという願いも込められています。

第三に、2030松崎Goalsの13のゴールに対応して、

プロジェクトチームが試行的に活動を進めています。各チームは、年代、性別、生活背景、得意分野を異にする多様なメンバーから構成されるように配慮しています。地域住民だけでなく、静岡大学の教職員と学生を含め、地域外の多様な市民・NPO法人・企業が参画し、パートナーシップに基づいて持続可能な事業を展開できるように、対話・学び・試行を重視した開かれた活動を心がけています。

松崎で活動していると、先輩教員を含めて、先人たちが築いた土台の上で仕事をさせてもらっていると実感します。受け継いだトーチの灯を消さず、次世代の人に手渡せるように、仲間たちと共に歩んでいきたいです。

松崎町にとって2022年度は、次期総合計画（2023-32年度）を策定する節目の年です。しかも深澤準弥町長は、2030松崎プロジェクトを次期総合計画の中心に据えると表明しています。2030松崎プロジェクトの試金石といってよいでしょう。プロジェクトメンバーたちにとっても、大きなチャレンジです。わたし自身、松崎町まちづくりアドバイザーとして、2030松崎プロジェクトと次期総合計画を融合する役割を託されています。新しいパートナーシップを築く挑戦は続きます。



## 2021年度静岡大学公開講座

静岡大学では、地域社会に対し広く学習の機会を提供することを目的として、1978（昭和53）年より公開講座を実施しています。

今年度の公開講座は、下の表のとおり、4月から3月にかけて多岐にわたるテーマで実施を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止や延期、人数制限や形式を変えての実施となった講座もありました。

今年度の実施結果をもとに、来年度以降の公開講座

のあり方に結びつけていきたいと思えます。

次年度の公開講座の情報は地域人材育成・プロジェクト部門HPでご確認いただけます。

<https://www.lc.shizuoka.ac.jp/>



講座名	講師	日時	会場	対象	各日定員	延べ人数	受講料	主催
日本人の知らない世界 [全14回]	人文社会科学部教授・張 盛開 人文社会科学部教授・埋田重夫 国際連携推進機構特任教授・比留間洋一 人文社会科学部教授・南 富鎮 人文社会科学部教授・勝山幸人 静岡大学名誉教授・田村充正 人文社会科学部教授・熊谷滋子 人文社会科学部教授・小二田誠二 人文社会科学部教授・堀 博文 学長補佐室特任教授・ダリウス・グレネジ 人文社会科学部教授・鈴木実佳 人文社会科学部教授・安永 愛	4/17・24、5/15・29、 6/26、7/10、 9/18・25、10/2・16・30、 11/20、12/4 (いずれも土曜日) 14:00～16:00 4/17は13:00～16:00 (13:00～13:50・14:00～16:00)、 5/29は13:00～15:00	対面（静岡キャンパス）とオンライン（Zoomミーティング）の併用	一般市民	対面 50 オン ライ ン 30	431	無料	人
山のリスクとそのマネジメント	教育学部教授・村越 真	5/8(土)14:00～16:00	オンライン (Zoomミーティング)	Zoomミーティングに参加可能な方	90	28	無料	教
安心登山のための読図とナビゲーション（スマホ利用編）	ブロードベンチャーレーサー・宮内佐季子 教育学部教授・村越 真	5/15(土)9:30～16:00	静岡キャンパス および屋外	スマホやタブレットの地図アプリを利用して登山を楽しみたいと考える市民	25	24	2,400	教
子どもの「やってみよう！」を支えるために：遊びの中のリスクマネジメント	教育学部附属幼稚園副園長・柴田知江 教育学部教授・村越 真	6/9(水)9:30～11:30	静岡大学附属幼稚園園庭 (雨天時：遊戯室)	小学校就学前の子どもの保護者（満2～4歳のお子様の同伴可）	20	14	無料	教
静岡の自然と文化 ～富士山・県東部を中心に～	未来社会デザイン機構教授・小山真人 人文社会科学部、地域創造学環教授・小二田誠二	6/19(土)13:00～16:15	プラサヴェルデ	一般市民	80	53	無料	地
作って学ぶ、工学部の化学実験	工学部教授・植田一正 技術部技術専門職員・草薙弘樹 技術部技術職員・早川敏弘	7/31(土)、8/1(日) いずれも10:00～13:00	浜松キャンパス	中学生・高校生（保護者同伴可）	20	7	無料	工
体験！大学の化学実験 [全2回] ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	グリーン科学技術研究所教授・近藤 満	8/21(土)・22(日) 10:00～16:00	静岡キャンパス	中学生・高校生（保護者同伴可）、理科教育の関係者	25	—	無料	グ

講座名	講師	日時	会場	対象	各日定員	延べ人数	受講料	主催
愛おしさから読み解くくだもの の多様性～園芸と民藝の融合 ～ [全3回]  ※新型コロナウイルス感染拡大 防止のため第1回・第2回は 中止	農学部准教授・松本和浩	8/28(土)、9/25(土)、 12/3(金)14:00～16:30	藤枝地区交流 センター ふれ あい広場 伊豆・松崎・ であい村 蔵ら 健康文化交流 館「来・て・こ」	くだもの歴史、 品種、味等の 多様性またはそ れらを活かした 地域活性化に 興味がある消費 者、生産者	50 20 20	25	無料	農
静岡大学キャンパスミュージア ム公開講座2021 [全5回]  ※新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止	理学部非常勤講師（ふじのくに地球環 境史ミュージアム教授）・岸本年郎 理学部准教授・徳岡 徹 人文社会科学部教授・山岡拓也 理学部准教授・石橋秀巳 技術部・宮澤俊義	10/9・16・23・30、11/6 (土)10:00～12:00	静岡キャンパ ス	一般市民、学 生、小中高 生（中学生以 下は保護者同 伴）	20	—	無料	キ
市民社会と法～子どもをめぐ る社会の変容と法制の動向～ [全5回]	サステナビリティセンター 法実務部門教授・板倉美奈子 サステナビリティセンター 法実務部門教授・正木祐史 サステナビリティセンター 法実務部門客員教授・上原裕之	10/9、11/6、12/4、1/8、 2/5(いずれも土曜日) 13:30～15:30	静岡市葵生涯 学習センター (アイセル21)	一般市民	30	49	無料	サ
これからの教育と情報：オンラ イン授業と学習のありかた  ※新型コロナウイルス感染拡大 防止のためオンデマンド配信 に変更して実施（延べ人数は 11/1～30のアクセス合計）	情報学部教授・宮崎佳典 情報学部教授・大島律子 情報学部講師・大瀧綾乃 情報学部准教授・狩野芳伸	11/6(土)10:35～12:00	浜松キャンパ ス	興味のある方 ならどなたでも	70	568	無料	情
第3回 邦人作品の調べ  ※新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止	教育学部講師・服部慶子 教育学部教授・長谷川 慎	2022年 3/12(土)14:00～16:00	静岡市葵生涯 学習センター (アイセル21)	一般市民、 生徒、教員	100	—	無料	教
安心登山のための読図とナ ヴィゲーション（中級編）  ※開催前のため延べ人数は 申込者数	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング元日本代表選手・ 小泉成行	2022年 3/19(土)9:00～16:00	静岡近郊の里 山	下記の①～③ をすべて満た した方。 ①過去に初 級編を受講し た方、又は 地形図の基 礎知識がある 方、②登山経 験者で7km程 度を無理なく 歩ける方、③ YouTubeによ る事前学習（予 習）が可能 な方	20	20	4,100	教

#### 【主催欄凡例】

人=人文社会科学部 教=教育学部 情=情報学部 工=工学部 農=農学部 グ=グリーン科学技術研究所  
地=地域創造教育センター サ=サステナビリティセンター キ=キャンパスミュージアム

## 地域創造学環部門の上半期（10月～3月）事業報告

静岡大学地域創造学環は、2016年4月にスタートした、従来の学部の枠組みを超えた新しい全学学士課程横断型教育プログラムです。幅広い教養と高い専門知識を身につけながら、地域（フィールド）に飛び出し、より魅力的な地域社会の創造に取り組むことのできる人材の育成を目指しています。

地域創造学環のカリキュラムの柱となる「フィールドワーク」の授業では、地域と連携しながら、地域課題の発見及びその解決に取り組んでいます。2021年度後学期は、1年生も新たなメンバーとして加わり、静岡県内14箇所において、16のテーマのもとでフィールドワークに取り組みました。（各フィールドのテーマは、下記の表をご参照ください）。

昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行の影響で現地での活動が難しい時期もありましたが、安全マニュアルを作成し対策をした上で、活動を行いました。

なお、2020年度の活動をまとめた『フィールドワーク報告書』を、地域創造学環のホームページに掲載しています。そのほかにも、各フィールドを担当する教員や学生たちの活動を随時紹介するコーナーもあります。ぜひご覧ください。



静岡大学 地域創造学環  
ホームページ

<https://www.srd.shizuoka.ac.jp>

### 【2021年度後学期フィールドとテーマ】

フィールド	テーマ
静岡市 清水港周辺地域	清水港周辺地域が“つながる”“ひろがる”“にぎわう”活動
静岡市 庵原地区	庵原地区の地域資源を活かした食・スポーツによる地域活性化
静岡市 おまち	おまちを中心とした静岡市内のにぎわい創出
静岡市 浅間通り商店街	浅間通り商店街のにぎわい創出
焼津市 浜通り	地域住民と高校生との交流に基づいた地域づくり活動
浜松市 浜松文芸館 (公益財団法人 浜松市文化振興財団)	若者の文芸離れを食い止めよう
浜松市 佐久間町	暮らし体験で交流の環づくり
掛川市 田園空間博物館 南遠州とうもろの里	子どもたちを呼び込むための環境づくり
御前崎市	御前崎スポーツ振興プロジェクトスポーツによる交流人口の拡大と産業振興の推進
松崎町	①なまこ壁が残る松崎町商店街のにぎわい創出 ②防災と観光の両立
東伊豆町	地域の魅力の再発見と発信への取り組み～地域の人と外部の人との架け橋として～
伊豆半島ジオパーク	①伊豆半島ジオパークにおける環境保全と防災対策 ②伊豆半島ジオパークの持続可能な開発と教育(SDGs/ESD)の推進
多世代の居場所づくり	多世代の居場所づくりと地域福祉資源のネットワーク
学内地域連携拠点	静大発 地域と大学の連携を広めよう!

## 佐久間

今年度後学期の佐久間フィールドでは、佐久間の魅力のひとつである天竜川の特有の綺麗なエメラルドグリーンの川や風景を守る活動として、浜松山里いきいき応援隊 山田恵美莉さんの企画「豆こぼしクリーン作戦」に参加しました。これまでの活動もあり、ごみが山のように散乱…という訳はなかったのですが、それでも袋いっぱいの空き缶等を回収しました。地域の方々、浜松地区からの方々と一緒に活動することで、佐久間の現状や課題を肌で感じることができました。



また11月には、佐久間の大自然を楽しむための拠り所を一から作り出す活動に参画しました。この活動には、企画者の浜松山里いきいき応援隊 山田恵美莉さんや他の市町村からも参画者が集って行われました。この日の活動は、旧畑の整備、鳥箱の設置や机の作成などのお手伝いをさせてもらいました。今後、この場所は他地域の方々を含んだ主に子どもを対象とした「秘密基地!？」のような場所に変身を遂げる予定とのことです。今後もこのような活動経験や地域の方々にお聞きしたお話を切り口ののひとつとして、静大生が貢献できることを検討・実施していきます。



## 庵原

庵原フィールドでは、11月に清水ナショナルトレーニングセンターにて、静岡市まちづくり公社との共催で「スポーツツアー in 庵原」を開催しました。ツアー参加者の皆さんには「10回椅子立ち上がり座りテスト」、「10メートル障害物歩行テスト」、「棒反応テスト」、「ヨガ・ストレッチ体験」、「ノルディックウォーキング」、「ボッチャ」を体験していただきました。また清水ナショナルトレーニングセンターのレストランで昼食も楽しんでいただき、その際、学生たちが地元から取り寄せたミカンを使ったデザートを提供しました。昼食の後は、参加者の皆さんと意見交換を行い、今後につながる貴重な意見やアドバイスをいただきました。



今後もスポーツツアーを定期的実施し、庵原地区の住民の皆さんとの関係を深めながら、ますますの活性化について考え、地域を盛り上げていきたいと思えます。

# 地域人材育成・プロジェクト部門の下半期事業報告

## 静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

### 1 静岡大学・読売新聞連続市民講座

#### 「リスクに向き合う～危機に備えたまちづくり・くらしづくり～」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	6/5(土)	私たちの周りにおけるリスクとそのマネジメント	村越 真(静岡大学教育学部/防災総合センター・教授)	58
2	7/10(土)	化学のチカラで感染症に立ち向かう	鳴海哲夫(静岡大学工学部・准教授)	53
3	8/28(土)	ネットのリスクをどう教えるか	塩田真吾(静岡大学教育学部・准教授)	36
4	9/25(土)	感染症のリスクに向き合う	鈴木哲朗(浜松医科大学医学部・教授)	32
5	10/16(土)	感染症ウイルスを測る	朴 龍洙(静岡大学グリーン科学技術研究所・所長)	31

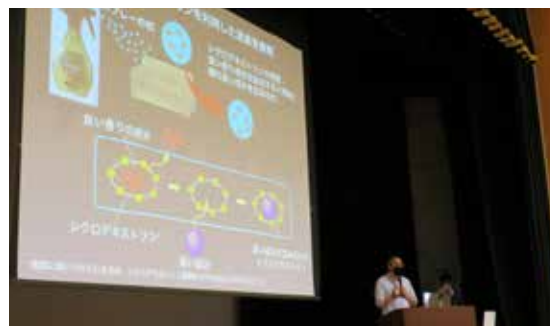
■開催形態：第1回・第2回…対面講座、第3回～第5回…Zoomによるオンライン講座

■時間：13:00～16:00(開場12:30)

■定員：各回115名

■参加費：無料

■連携先：読売新聞東京本社静岡支局



### 2 静岡大学・中日新聞連携講座「いのちとくらしを守るイノベーション」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	10/12(火)	感染症の原因ウイルスとその対処法	鈴木哲朗(浜松医科大学医学部・教授)	29
2	11/9(火)	土砂災害はいつどこでおきるのか?～土砂災害の実態と対策～	今泉文寿(静岡大学農学部/防災総合センター・教授)	34
3	11/30(火)	ALSやガンの原因となる特殊なDNAとは?	大吉崇文(静岡大学理学部・准教授)	32
4	12/21(火)	金融情報システムの障害にどう向き合うか～最近の障害事例からの示唆～	遠藤正之(静岡大学情報学部・教授)	30
5	1/18(火)	磁性ナノ粒子の磁化機構解明～がん診断治療技術への応用を目指して～	大多哲史(静岡大学工学部・助教)	30

■開催形態：Zoomによるオンライン講座

■時間：18:30～20:00(開場18:00)

■定員：各回100名

■参加費：無料

■連携先：中日新聞東海本社

## 主催事業

### 公開シンポジウム「地域課題に取り組む しかけと場づくりを考える」

地域の課題を公募し、その解決支援を試みる静岡大学の「地域課題解決支援プロジェクト」も9年目を迎え、地域の様々な主体による働きかけを取り込みながら各地で様々な展開をみせています。様々な地域課題への取り組みを紹介しながら、地域づくりにかかわる新たなしかけや場づくりのあり方を検討しました。

- ・日時：2021年12月27日（月）13:00～16:00
- ・開催方法：オンライン開催（Zoom ミーティング）
- ・プログラム：

[報告1]「松崎町における地域づくりの課題と可能性」  
報告：斎藤一憲（松崎町企画観光課）、富川友秀（静岡県立松崎高等学校）

[報告2]「南伊豆町における地域づくりの課題と可能性」  
報告：山口一実（南伊豆町地方創生室）

[報告3]「東伊豆町における地域づくりの課題と可能性」  
報告：荒武優希（ローカルデザインネットワーク）

[報告4]「フューチャーセンター × 地域 各地の取り組み事例から」  
報告：宇賀田栄次（学生支援センター）

[報告5]「子ども達の「できる！」を社会の中に～株式会社子ども会議（仮）の挑戦～」  
報告：安池中也（株式会社子ども会議（仮））

[パネルディスカッション]

パネリスト：報告者

コーディネーター：阿部耕也（静岡大学地域創造教育センター教授）

- ・参加費：無料
- ・対象：一般市民、教職員、大学生
- ・参加者数：47人

### 地域連携セミナー

#### 「学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—」

障害者の就労を支えるためには、余暇の充実や生涯学習が重要であり、近年、大学での実践が多数報告されています。学びの環境づくりと効果的な支援を提供することを目的に、2021年度は2回実施しました。

#### 第1回

- ・日程：2021年10月31日（日）
- ・プログラム：  
[演習] アイスブレイク～学びのなかま～  
[講義] 「コロナ禍における生活」
- ・参加者数：18人

#### 第2回

- ・日程：2021年12月5日（日）
- ・プログラム：  
[演習] アイスブレイク～学びのなかま～  
[講義] 「歩くことと健康」
- ・参加者数：17人

#### 共通事項

- ・会場：静岡大学学生会館
- ・参加対象：静岡市と周辺の地域の障害のある社会人
- ・参加費：無料
- ・企画：静岡県障害者就労研究会

## 共催事業

### 地域づくり人材研修事業「公民館主事等研修会」

静岡県教育委員会と連携し、県内公民館主事、社会教育関係者、市町の生涯学習担当職員、大学生を対象とした研修会を開催しました。

公民館活動等を通じて生涯学習事業を展開している生涯学習指導者への教育研究情報の提供や、大学とのネットワークづくり、指導者の資質の向上を図り、公民館等の事業や活動を効果的に推進することを目的としています。

- ・日時：2021年11月2日（火）10：30～15：40
- ・会場：静岡市興津生涯学習交流館
- ・対象：県内公民館主事等関係職員、公民館に類似する施設等関係職員、社会教育関係職員、市町生涯学習関係職員、静岡大学教育学部学生
- ・プログラム：

#### [事例報告]

令和2年度優良公民館表彰館の取組「佐鳴湖のあるまち入野」野島克洋（浜松市入野協働センター）

#### [行政説明]

「地域学校協働活動の推進について～地域と学校のネットワークづくり～」亀田聡（静岡県教育委員会社会教育課教育主査）

#### [基調報告]

①「茶草場と棚田の里「千框」（せんがまち）」

堀延弘（NPO法人せんがまち棚田倶楽部事務局長）

②「1000人が1度集まるイベントよりも10人が100回集まる文化を」飯倉清太（NPO法人サプライズ代表理事）

#### [グループワーク]

テーマ「若者が活躍する地域とは？～公民館が果たすべき役割～」

- ・参加者数：28人

## 企画協力事業

### 静岡県議会事務局との連携事業 県議会議員と学生による意見交換会

- 日時：[第1回] 2021年10月5日（火）14:00～16:30  
[第2回] 2021年12月7日（金）15:00～16:30
- 会場：県庁本館4階会議室  
静岡大学地域創造学環の学生（2年生～4年生の8名）と県議会議員（2名）が参加し、意見交換会を開催しました。  
静岡県議会の傍聴を交えながら、「若い世代が活躍できるまち、戻ってきたくなるまち」をテーマとして意見交換を行いました。学生たちはフィールドワーク等で地域に関わった取り組みから、議員からは地域の様々な世代を巻き込みながら地域を盛り上げようとしてきた経験から、それぞれ意見を出し合い、若者の積極的な地域への関わりが何よりも重要であることを確認しました。

### 令和3年度 吉田町大学特別公開講座 しずおか学アラカルト ～静岡の資源と課題を考える～

- 大学特別公開講座とは、吉田町民の生涯学習（一人一人が生涯いつでも、自由に学習できること）の推進を目的とした講座です。静岡大学の講師による全3回の講義を行いました。
- 日時：2022年1月14日（金）、1月28日（金）、

2月10日（木） 19:00～20:30

- 場所：吉田町中央公民館
- 受講料：2,000円
- 対象者：高校生以上の方
- プログラム
  - ①1/14（金）「家康の駿府築城と天守台」  
講師：本多隆成（静岡大学名誉教授）
  - ②1/28（金）「土砂災害はいつどこでおきるのか？  
－土砂災害の実態と対策－」  
講師：今泉文寿（静岡大学農学部・教授）
  - ③2/10（木）「リスク社会を生きる－身近にあるリスクと向き合うことの意義－」  
講師：村越 真（静岡大学教育学部・教授）
- 受講者数：①22名、②21名、③19名
- 主催：吉田町教育委員会

## 市民開放授業

- 市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するものです。
- 2021年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、受講者の皆様の健康・安全面を最優先に検討した結果、止む無く中止しました。
- 2022年度前学期も引き続き学生の授業が対面授業と在宅授業の併用で実施されることとなり、教室の収容定員にも制限があるため、学外の方に参加していただくことが難しいと判断し中止することにしました。

## 2021年度企画実施委員会

当センターには、「企画実施委員会」が組織されています。地域連携・課題解決に関する事項や全学公開講座の企画・立案・実施に関する事項、その他大学開放および地域人材育成に関する事項について検討しています。今年度の委員は以下のとおりです。

阿部 耕也 地域創造教育センター長  
江口 昌克 地域創造教育センター教授  
山本 隆太 地域創造教育センター准教授  
川崎 和也 地域創造教育センター特任助教  
笠井 仁 人文社会科学部教授  
渋江かさね 教育学部准教授  
酒井三四郎 情報学部教授  
三重野 哲 理学部教授  
戸田三津夫 工学部准教授

檀本 正明 農学部准教授  
水谷 洋一 地域創造学環教授  
山本好比古 大学教育センター准教授  
坂下 裕一 学務部長（兼）地域連携推進課長

## 地域と大学 第44号

発行日——2022年3月25日  
発行——静岡大学地域創造教育センター  
編集——脇坂 友紀  
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836  
（事務局別館2階）  
TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295  
E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp  
URL: www.lc.shizuoka.ac.jp/  
（事務局）学務部地域連携推進課 ☎054-238-4055